

荒川区景況速報（令和6年4月～6月）

あら坊の景気ウォッチング!



全業種の動向

1 今期（4～6月）・次期（7～9月）の業況判断

※D Iとは、「良い」と回答した企業の割合－「悪い」と回答した企業の割合

荒川区の今期は▲20.9（前回調査▲10.2）と大幅に悪化、次期も▲29.3と大幅に悪化の予想となっている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではやや改善、東京都では改善の予想となっている。

2 今期（4～6月）の売上（1～3月と比較した状況）

「あまり変わらない」（43.9%）が約4割と最も高く、これに「減少した」（36.6%）、「増加した」（19.5%）が続いている。

3 原材料・原油価格の高騰や円安が経営にマイナスの影響を与えた回答の合計が7割半ば

「マイナスの影響があった」（53.0%）が最も高く、「大いにマイナスの影響があった」（22.0%）を合わせ、原材料・原油価格等の高騰によりマイナスの影響を受けたと回答した事業所が7割半ば（75.0%）である。これに「変わらない」（24.4%）、「プラスの影響があった」（0.6%）、「大いにプラスの影響があった」（0.0%）が続いている。

4 マイナスの影響を受けている内容は仕入れ価格の上昇との回答が約3割

「仕入れ価格の上昇」（33.7%）が約3割と最も高く、これに「運搬等のコスト増加」（15.4%）、「光熱水費の高騰によるコスト増加」（14.8%）、「売上高、販売実績の減少」（12.5%）、「コスト増加分の価格転嫁が困難」（10.5%）、「製造工程でのコスト増加」（8.1%）、「取引先・親会社からの受注減少」（4.7%）、「その他」（0.3%）が続いている。

5 半分以上は転嫁できているとの回答が3割半ばを超える

「半分以上は転嫁できている」（38.3%）が3割半ばを超えて最も高く、これに「転嫁できたのは半分に満たない」（29.6%）、「全く転嫁できていない」（16.7%）、「全て転嫁できている」（11.7%）、「コストが増加していないため転嫁する必要がない」（3.7%）が続いている。

* 調査方法等

今回の調査は、業種別構成比に基づき、抽出した区内中小企業200事業所を対象に、今期と次期について調査を行いました。調査票は令和6年6月10日に発送し、167事業所から回答（回収率83.5%）がありました。なお、集計結果の構成比の数値は小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計値が100%とならない場合があります。

（問合せ）荒川区 産業経済部 産業振興課 管理係 担当：山本、益子
電話：03（3802）3111 内線：446

1 今期（4～6月）・次期（7～9月）の業況判断

(1) 全業種

荒川区の今期は▲20.9（前回調査▲10.2）と大幅に悪化、次期も▲29.3と大幅に悪化の予想となっている。
 全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではやや改善、東京都でもやや改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	1～3月	▲10.2	4～6月	▲20.9	7～9月	▲29.3	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	1～3月	▲18.3	4～6月	▲15.7	7～9月	▲13.3	
東京都（東京都 中小企業の景況）	4月	▲21	5月	▲22	6～8月	▲19	

(2) 製造業

荒川区の今期は▲31.8（前回調査5.6）と大幅に悪化、次期は▲25.0とやや改善の予想となっている。
 全国・東京都の今期～次期を見ると、全国では改善、東京都ではやや改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	1～3月	5.6	4～6月	▲31.8	7～9月	▲25.0	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	1～3月	▲19.9	4～6月	▲18.8	7～9月	▲13.1	
東京都（東京都 中小企業の景況）	4月	▲30	5月	▲22	6～8月	▲20	

(3) 卸売業

荒川区の今期は▲25.0（前回調査▲17.1）と悪化、次期は▲36.6と大幅に悪化の予想となっている。
 全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ横ばい、東京都では横ばいの予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	1～3月	▲17.1	4～6月	▲25.0	7～9月	▲36.6	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	1～3月	▲15.1	4～6月	▲12.4	7～9月	▲12.3	
東京都（東京都 中小企業の景況）	4月	▲20	5月	▲18	6～8月	▲18	

(4) 小売業

荒川区の今期は▲15.0（前回調査▲5.0）と大幅に悪化、次期も▲43.9と大幅に悪化の予想となっている。
 全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではやや改善、東京都では改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	1～3月	▲5.0	4～6月	▲15.0	7～9月	▲43.9	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	1～3月	▲28.4	4～6月	▲25.0	7～9月	▲22.4	
東京都（東京都 中小企業の景況）	4月	▲25	5月	▲35	6～8月	▲27	

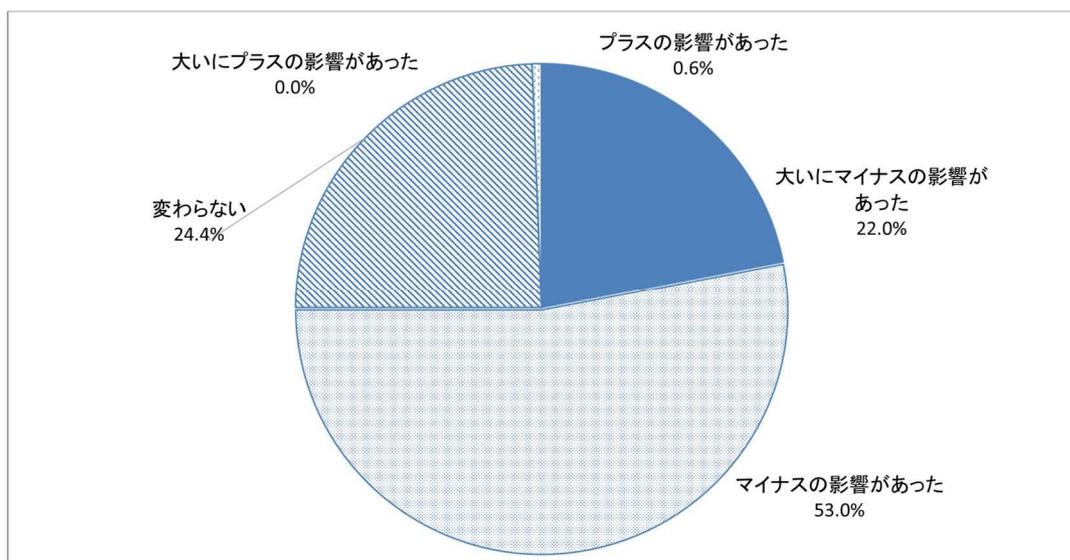
2 今期（4～6月）の売上（1～3月と比較した状況）

「あまり変わらない」（43.9%）が約4割と最も高く、これに「減少した」（36.6%）、
「増加した」（19.5%）が続いている。

（前回調査 「あまり変わらない」：51.0%、「減少した」：32.5%、「増加した」：16.6%）
業種別では「増加した」が、製造業では18.2%、卸売業では20.0%、小売業では19.5%と
なっている。

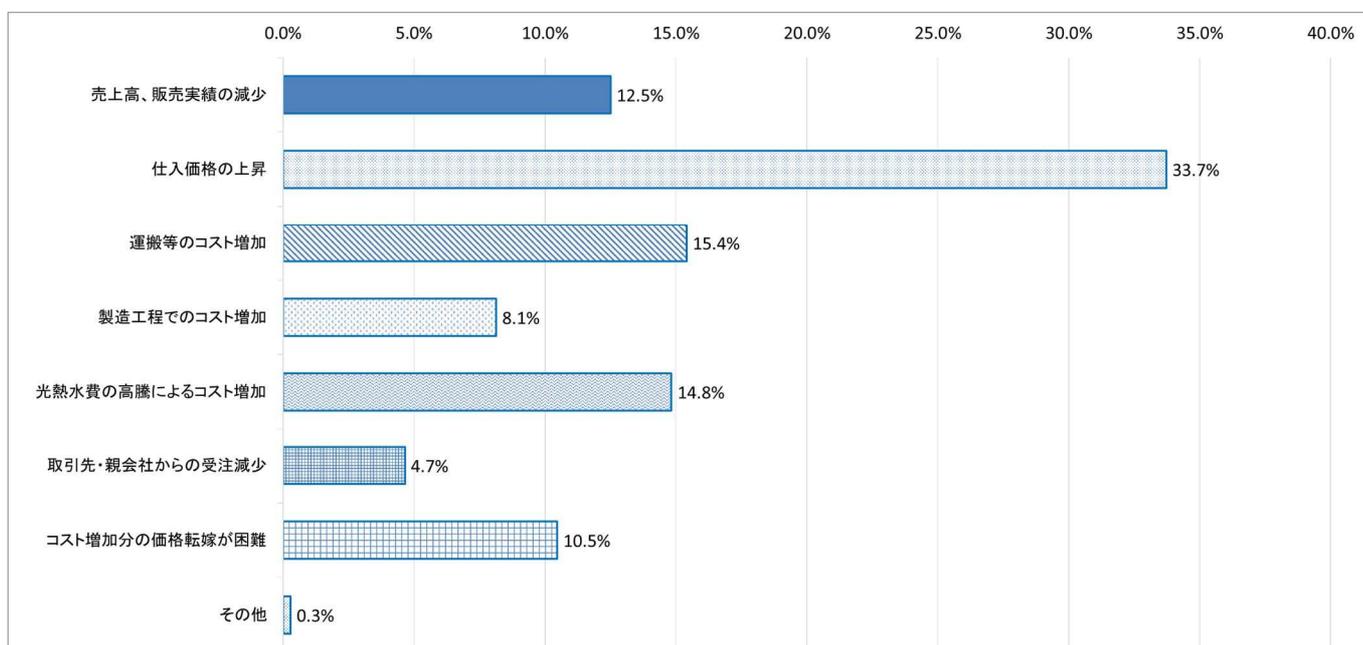
3 最近の原材料・原油価格の高騰、円安等は、貴社の経営に影響を与えましたか

「マイナスの影響があった」（53.0%）が最も高く、「大いにマイナスの影響があった」（22.0%）を
合わせ、原材料・原油価格等の高騰によりマイナスの影響を受けたと回答した事業所が7割半ば（75.0%）
である。これに「変わらない」（24.4%）、「プラスの影響があった」（0.6%）、「大いにプラスの影響があ
った」（0.0%）が続いている。



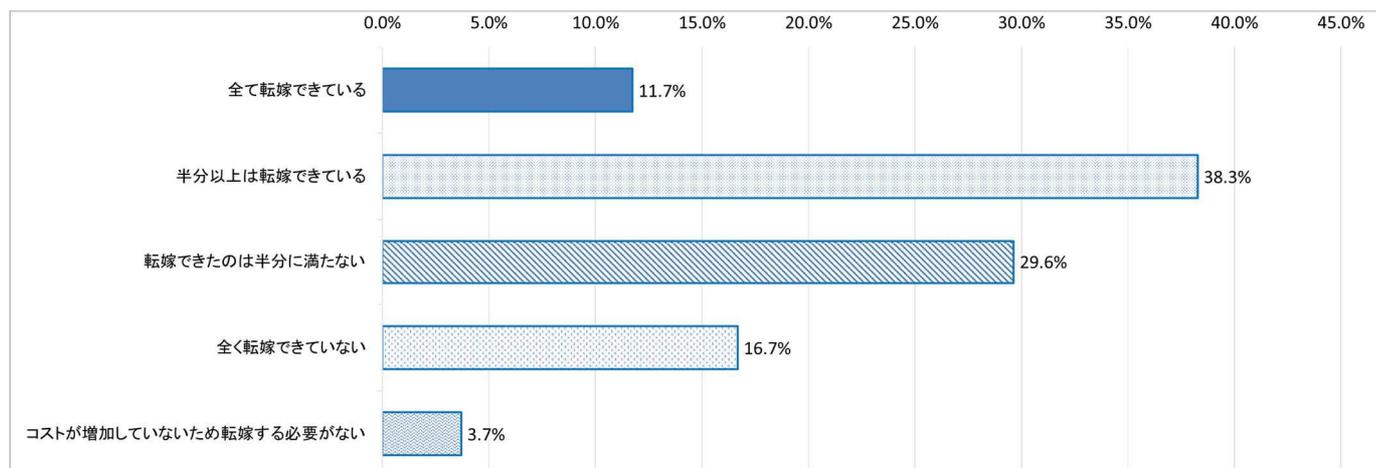
4 マイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください（複数回答可）

「仕入価格の上昇」（33.7%）が約3割と最も高く、これに「運搬等のコスト増加」（15.4%）、「光熱
水費の高騰によるコスト増加」（14.8%）、「売上高、販売実績の減少」（12.5%）、「コスト増加分の価
格転嫁が困難」（10.5%）、「製造工程でのコスト増加」（8.1%）、「取引先・親会社からの受注減少」
（4.7%）、「その他」（0.3%）が続いている。



5 物価高騰、円安等を受けたコスト増加分の価格転嫁について、当てはまるものを教えてください

「半分以上は転嫁できている」(38.3%)が3割半ばを超えて最も高く、これに「転嫁できたのは半分に満たない」(29.6%)、「全く転嫁できていない」(16.7%)、「全て転嫁できている」(11.7%)、「コストが増加していないため転嫁する必要がない」(3.7%)が続いている。



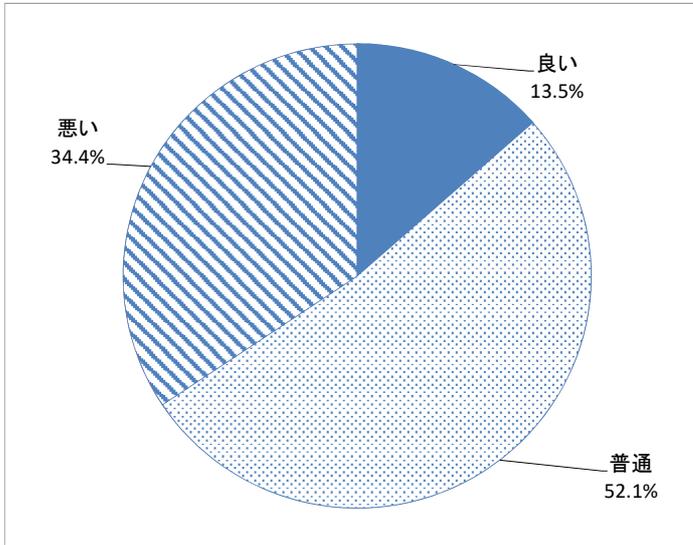
6 主な自由意見等

業種	内 容
製造	コスト増加分の価格転嫁には応じてもらっているが、受注量が減少した。前年と比べて売上金額に大差はないが、利益は減っている。
製造	価格転嫁をするしないは会社の自由だが、価格転嫁後も受注があるかは別の問題である。消費者の購買力低下を強く感じている。
製造	人手不足が深刻です。
卸売	消費者は将来に対する不安からか、買い物を控えているようだ。夏祭り等のイベント商材の売り上げも控え目で、盛り上がり欠けている。
卸売	仕入れ先の廃業で商品が入ってこないことがあり、厳しいときもある。
卸売	燃料費高騰によるコスト上昇分を補えていないため、売り上げが上がらない。
小売	海外からのお客様が多く来店しており、コロナ禍以前の売り上げ水準に戻りつつある。円安のためか、価格転嫁していても海外のお客様から値切られたり文句を言われることはない。
小売	原材料・光熱水費の高騰、人件費の上昇にいつまで我慢できるか。売れてはいるものの、利益が出ない。
サービス	ハローワーク担当者から、当社の賃金が特に低いわけではないと言われているが、大手の賃上げの影響か、求人を出しても反応がない。
サービス	一部値上げをしたら客足が落ちた。これまでより価格の低い物が買われるようになり、利益に繋がらない。

令和6年4～6月 あら坊の景気ウォッチング

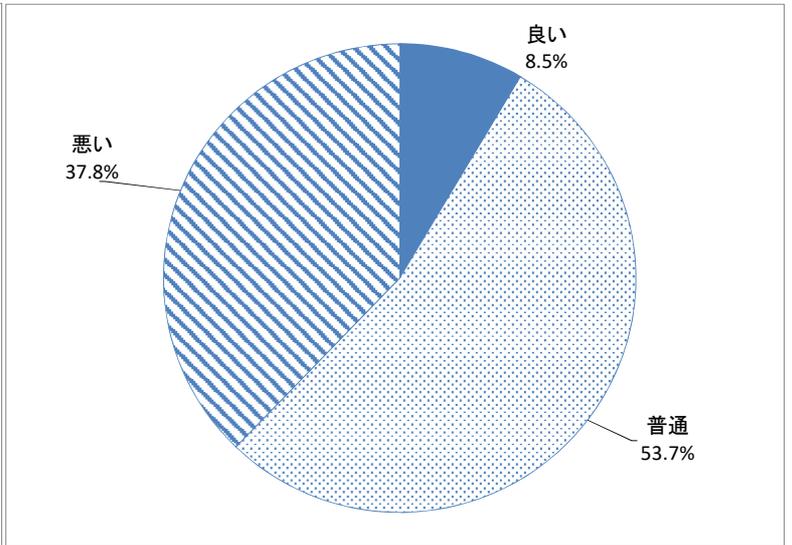
[全業種]有効回答 167事業所

4～6月の景況



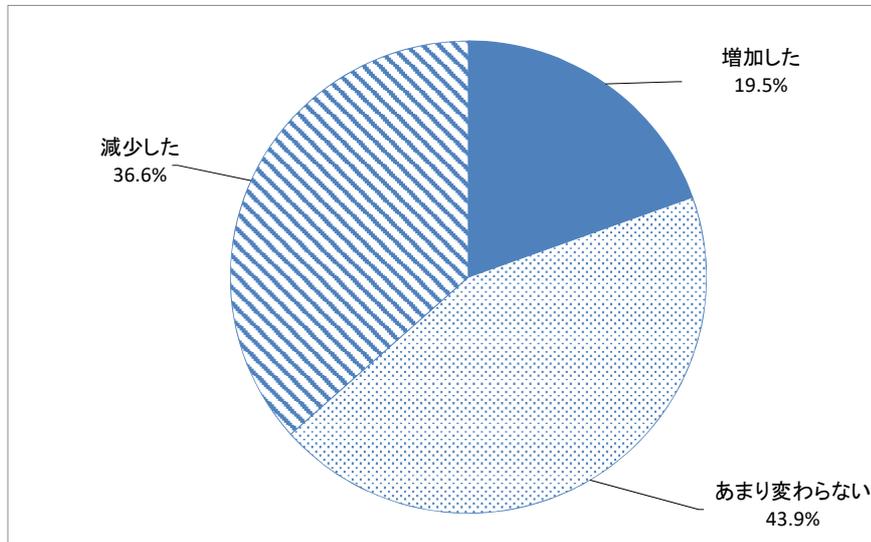
DI ▲ 20.9

7～9月の景況予想

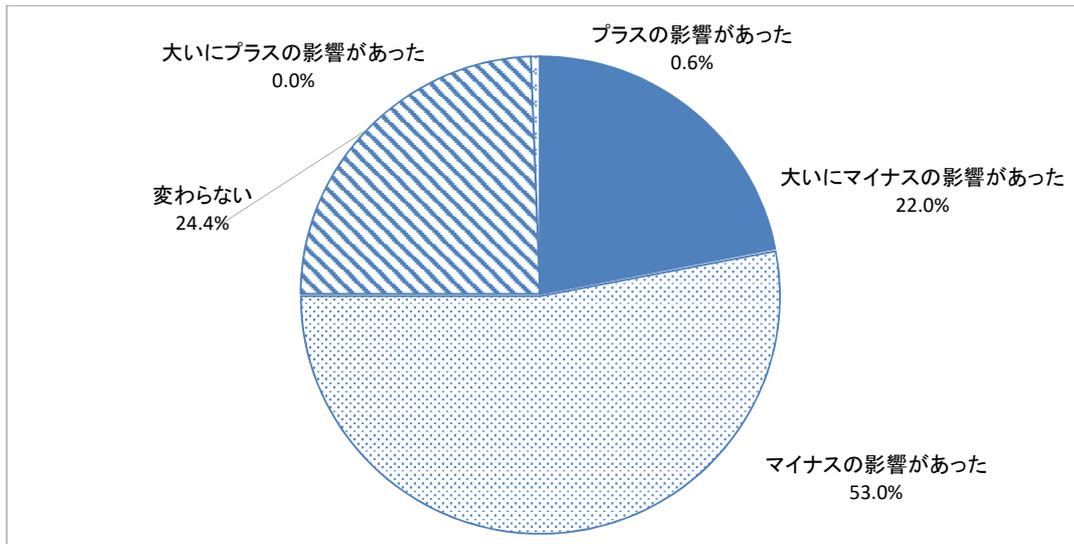


DI ▲ 29.3

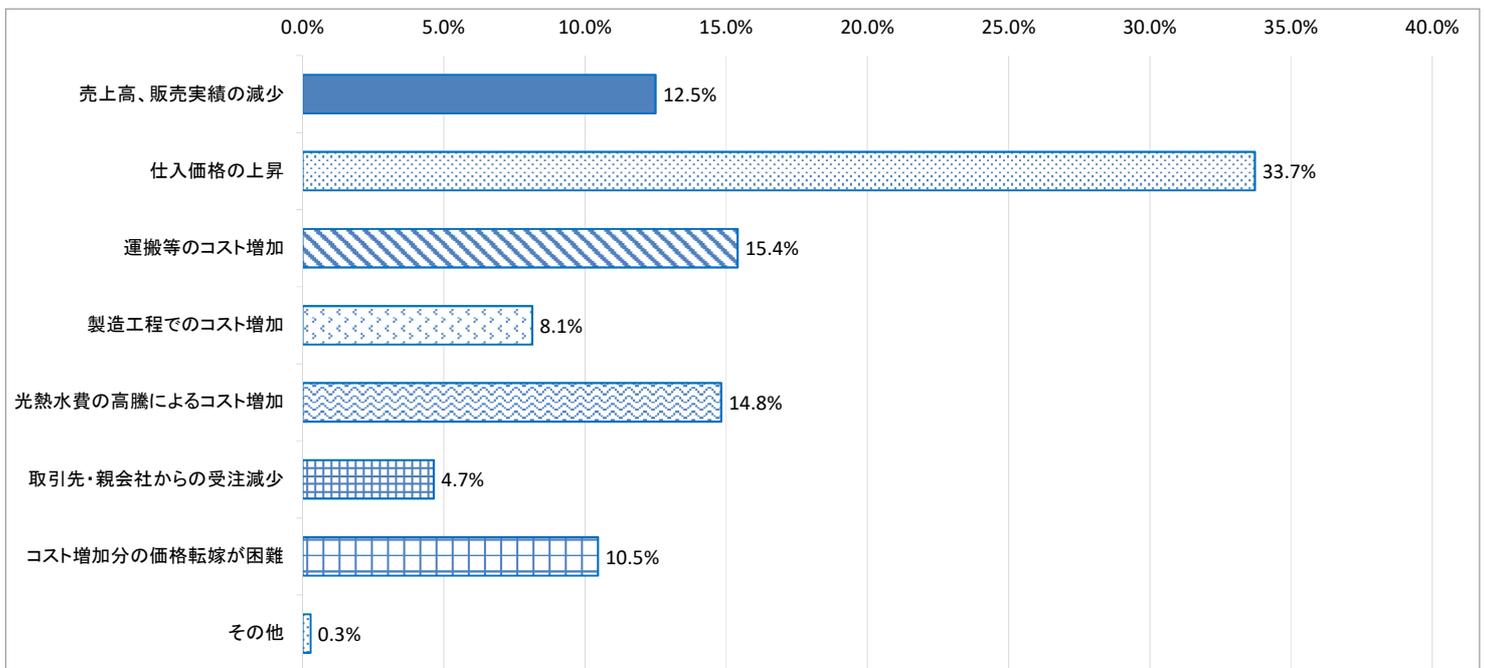
4～6月の売上(1～3月との比較)



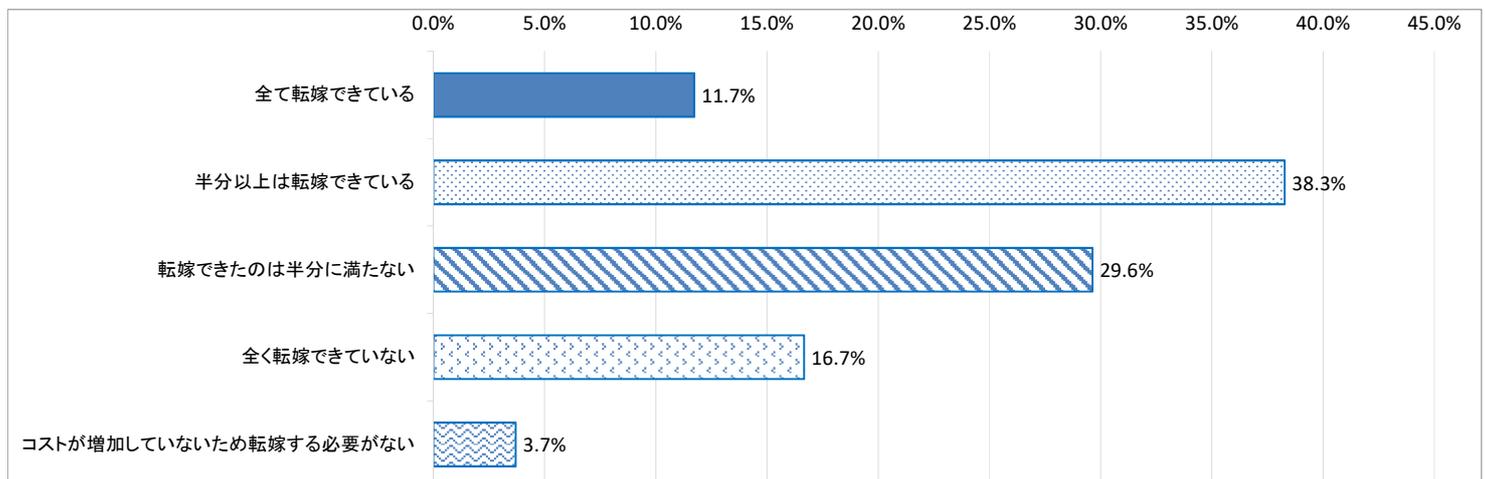
最近の原材料・原油価格の高騰、円安等は、貴社の経営に影響を与えましたか



マイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください



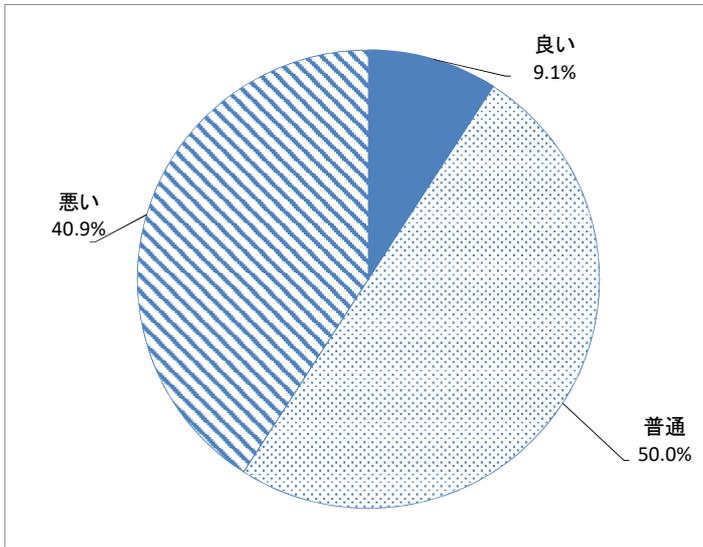
物価高騰、円安等を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください



令和6年4～6月 あら坊の景気ウォッチング

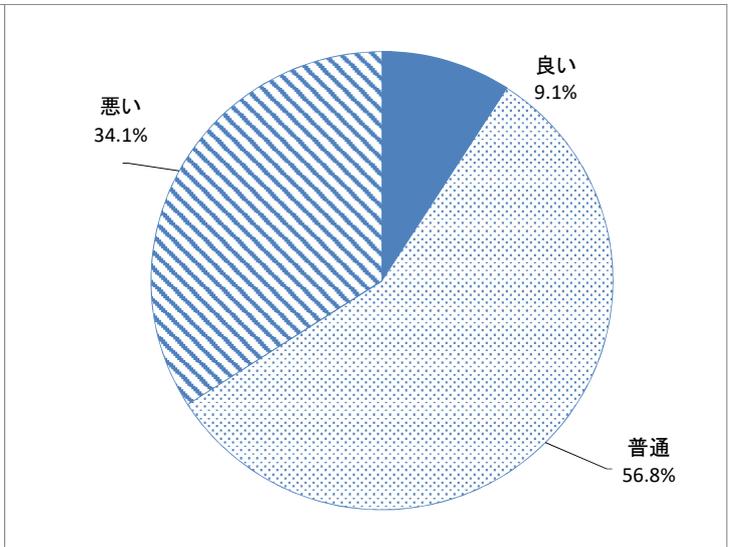
[製造業]有効回答 44事業所

4～6月の景況



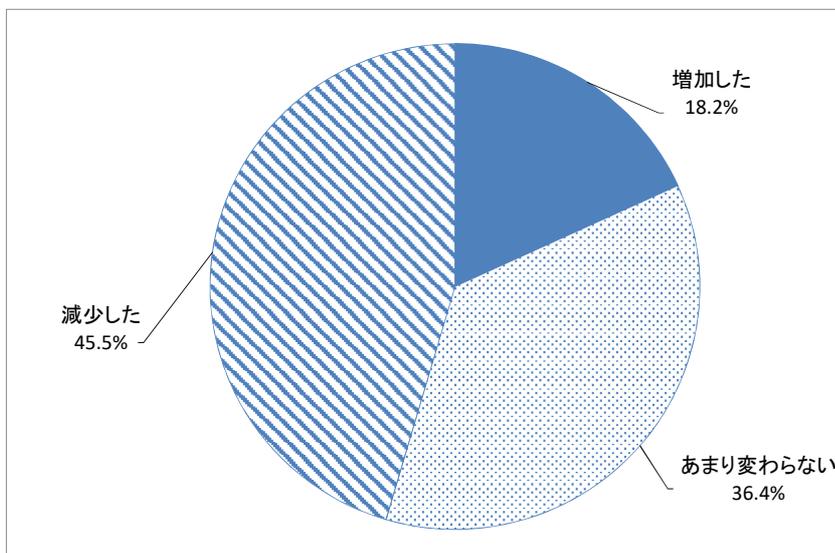
DI ▲ 31.8

7～9月の景況予想

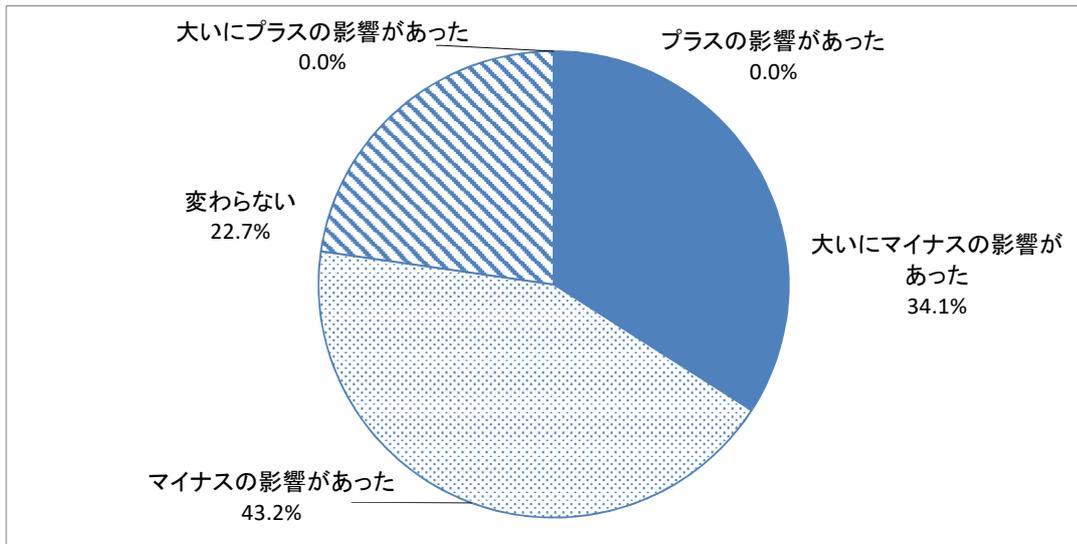


DI ▲ 25.0

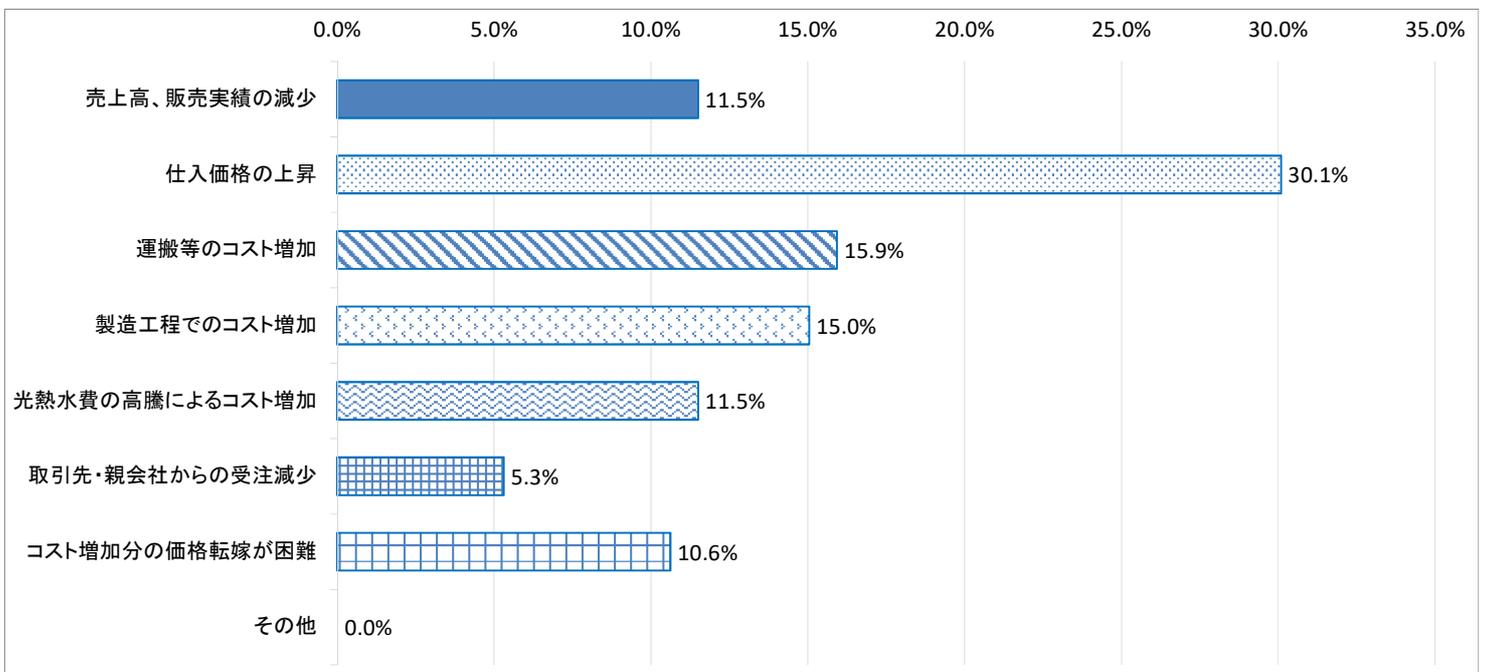
4～6月の売上(1～3月との比較)



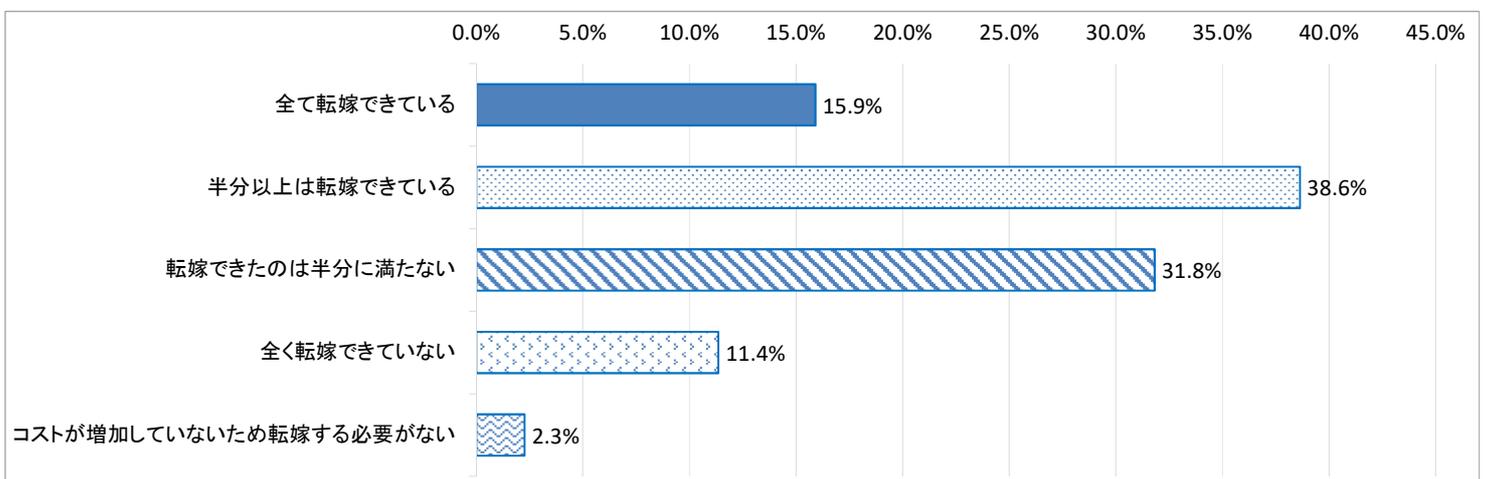
最近の原材料・原油価格の高騰、円安等は、貴社の経営に影響を与えましたか



マイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください



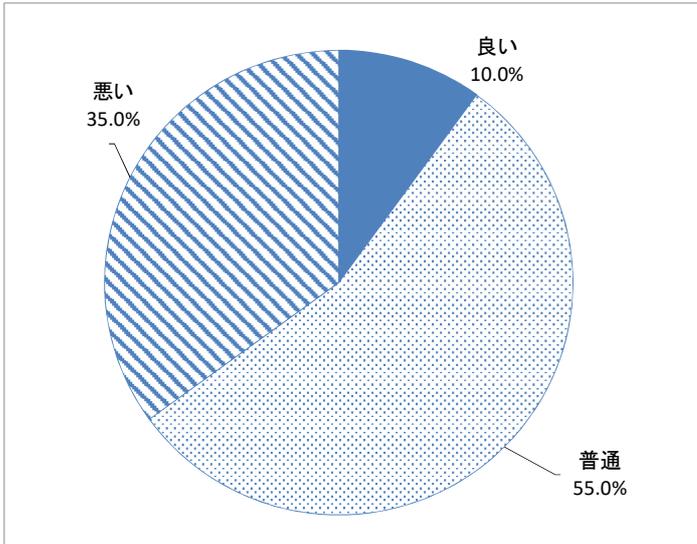
物価高騰、円安等を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください



令和6年4～6月 あら坊の景気ウォッチング

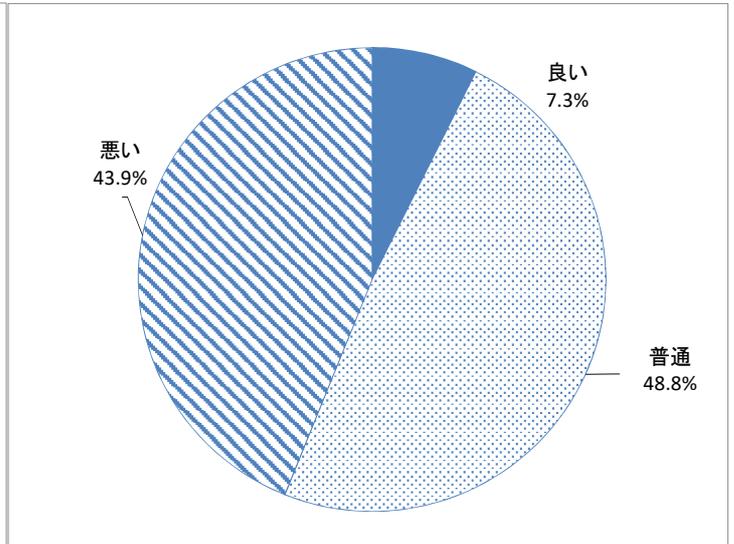
[卸売業]有効回答 40事業所

4～6月の景況



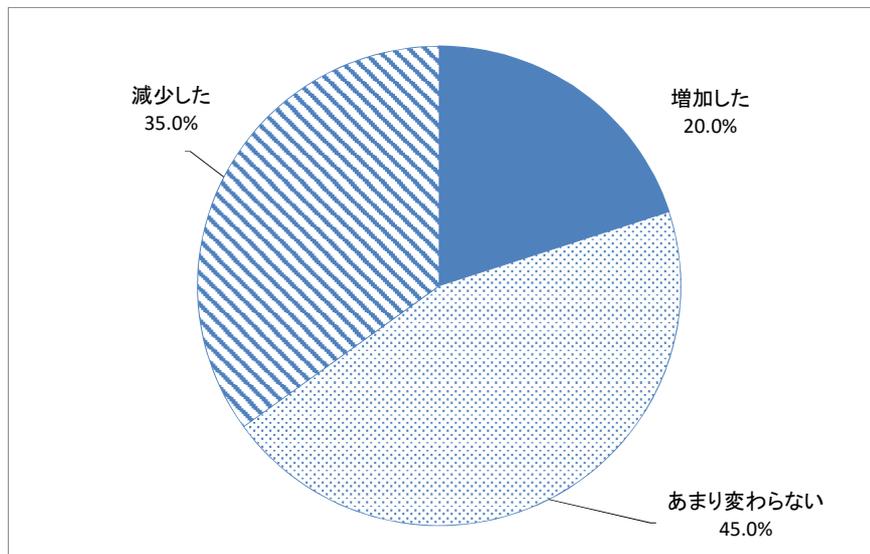
DI ▲ 25.0

7～9月の景況予想

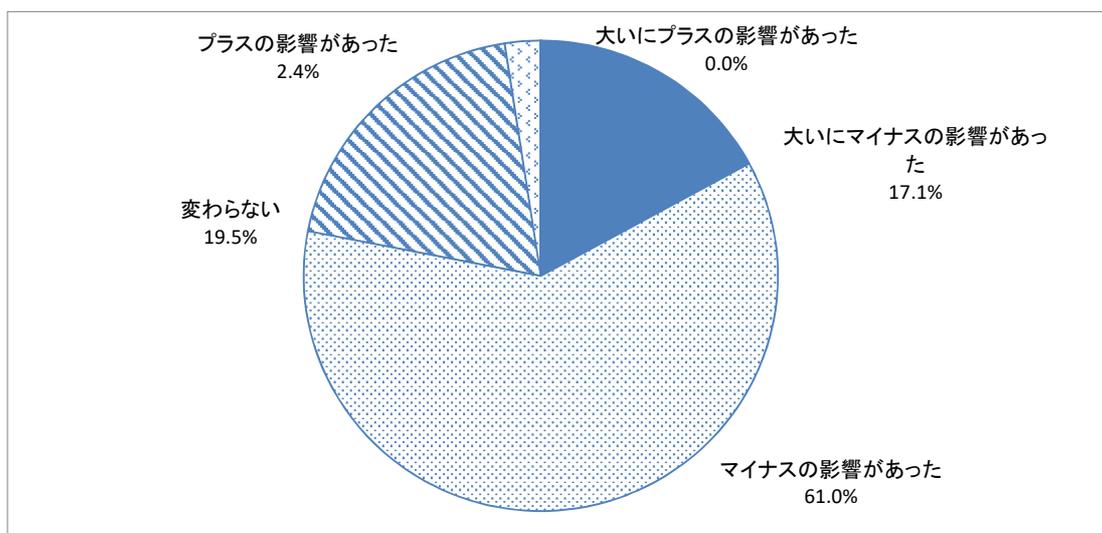


DI ▲ 36.6

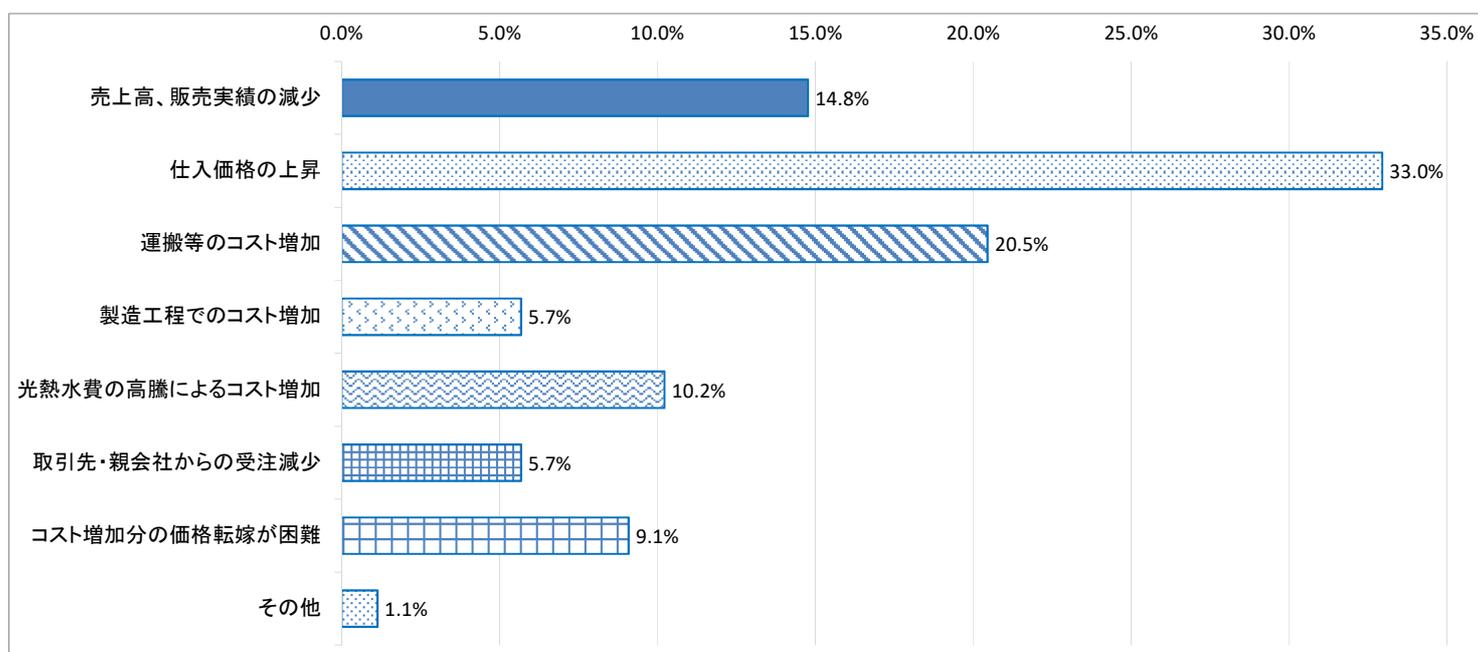
4～6月の売上(1～3月との比較)



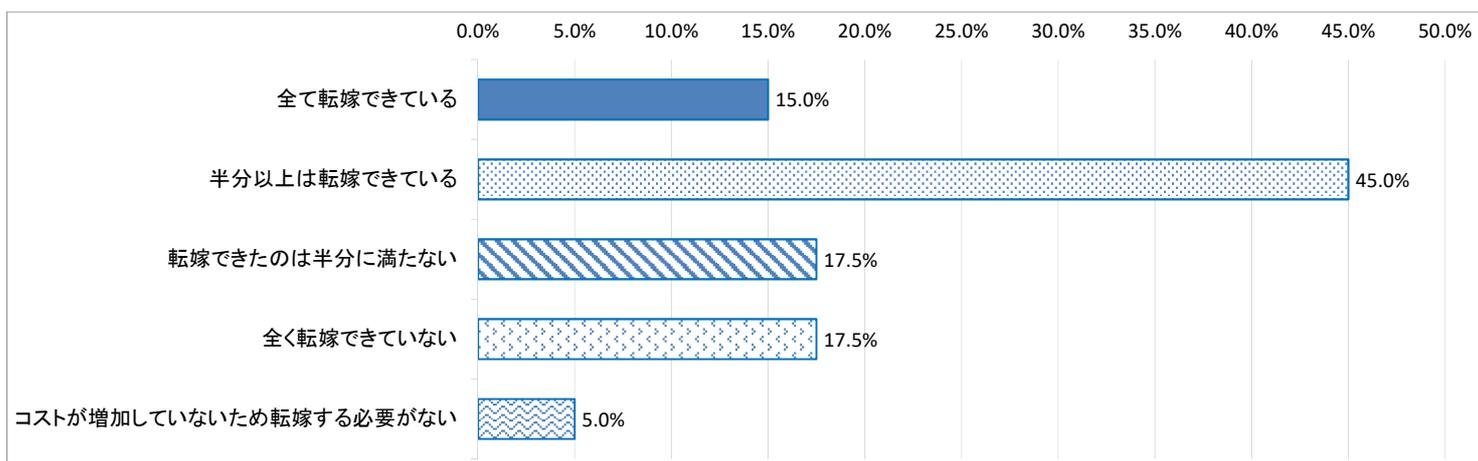
最近の原材料・原油価格の高騰、円安等は、貴社の経営に影響を与えましたか



マイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください



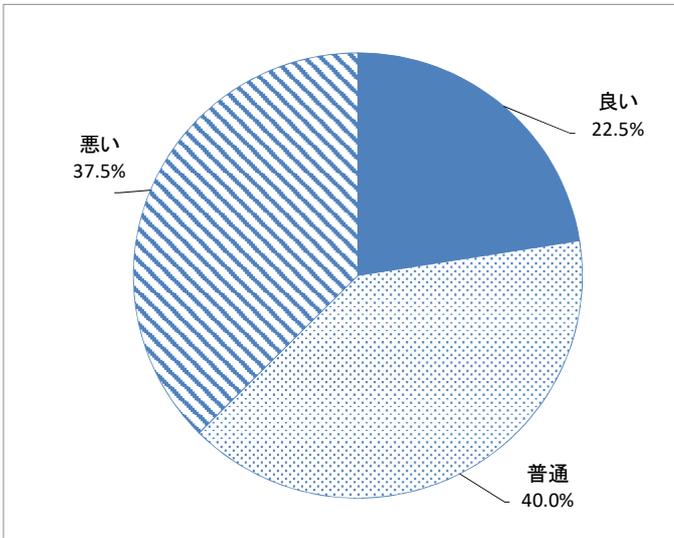
物価高騰、円安等を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください



令和6年4～6月 あら坊の景気ウォッチング

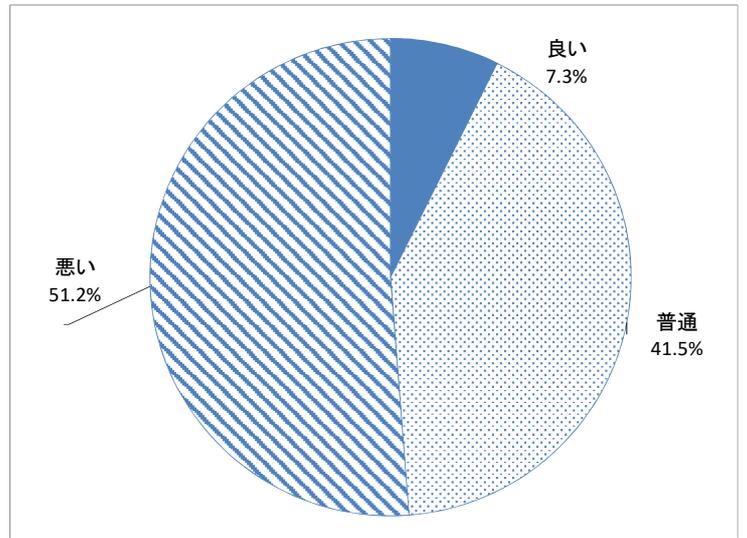
[小売業]有効回答 40事業所

4～6月の景況



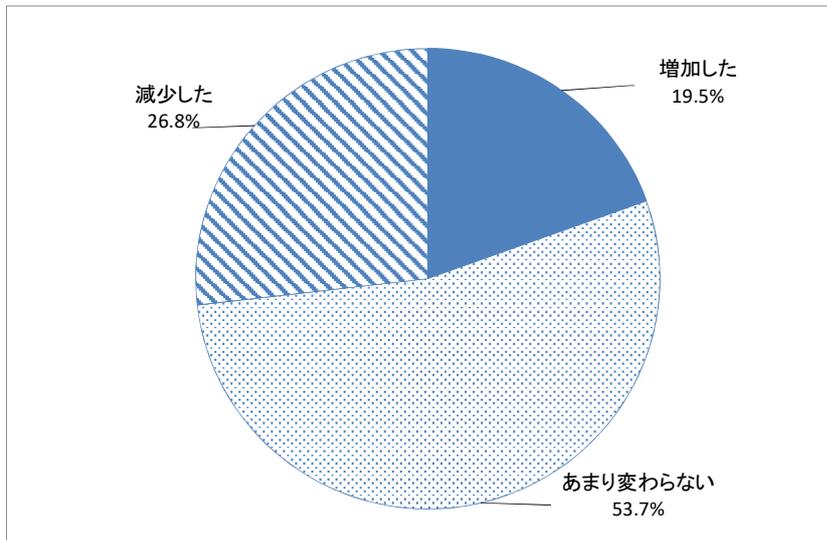
DI ▲ 15.0

7～9月の景況予想

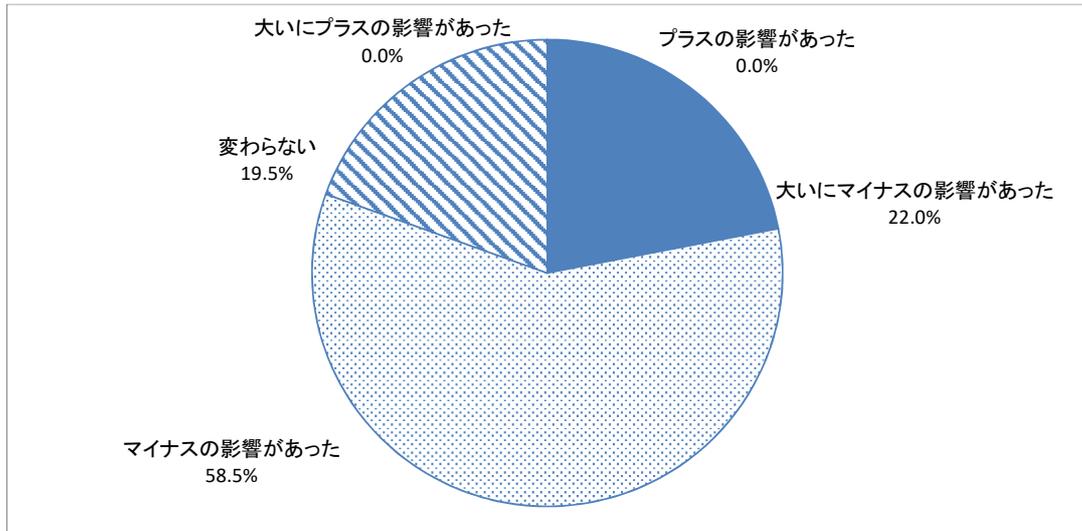


DI ▲ 43.9

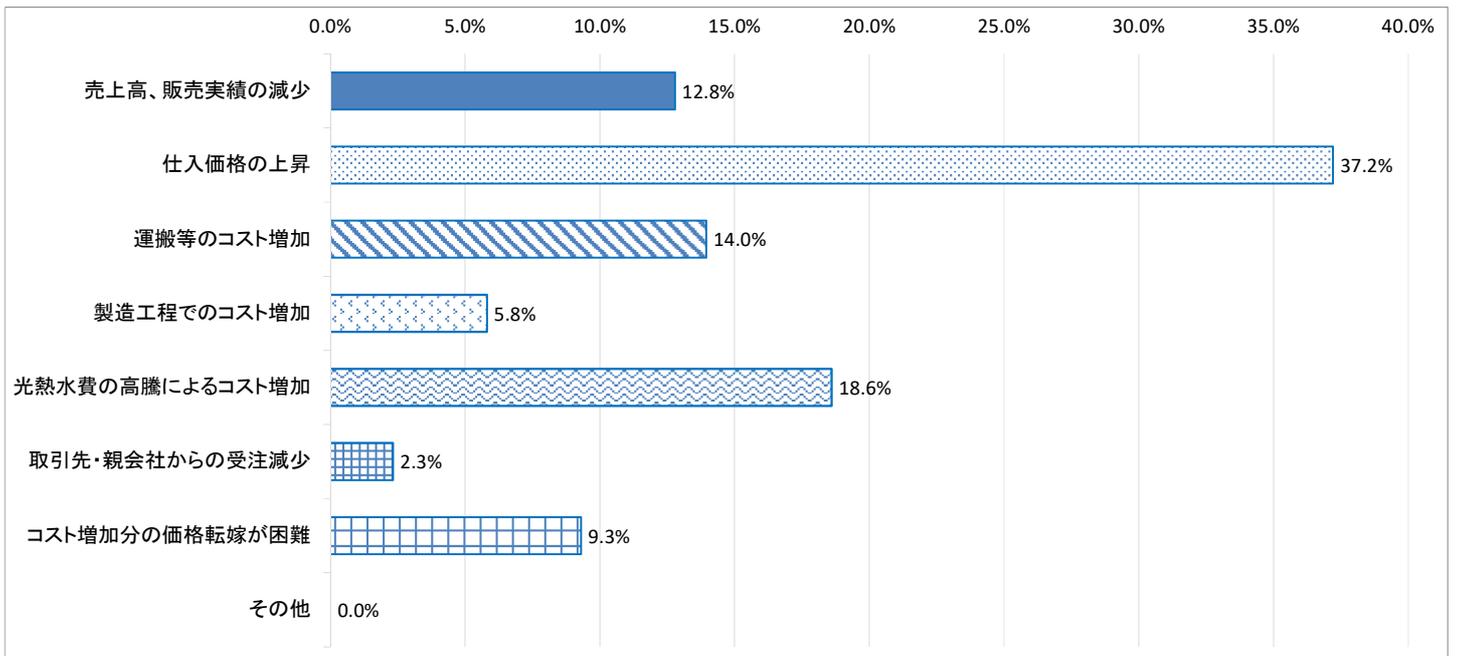
4～6月の売上(1～3月との比較)



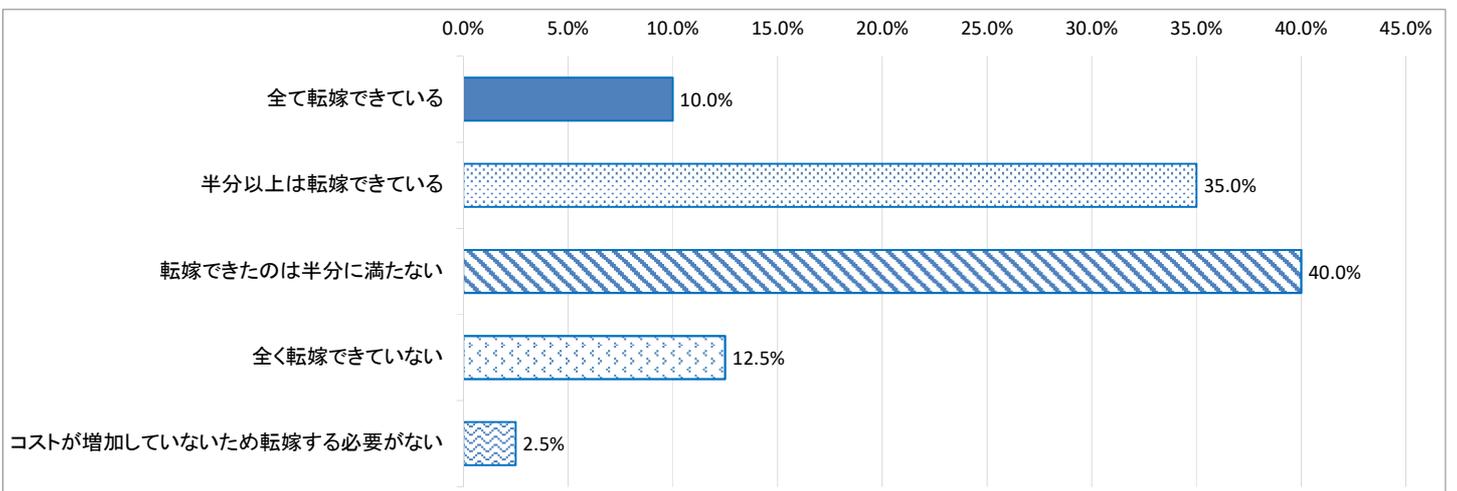
最近の原材料・原油価格の高騰、円安等は、貴社の経営に影響を与えましたか



マイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください

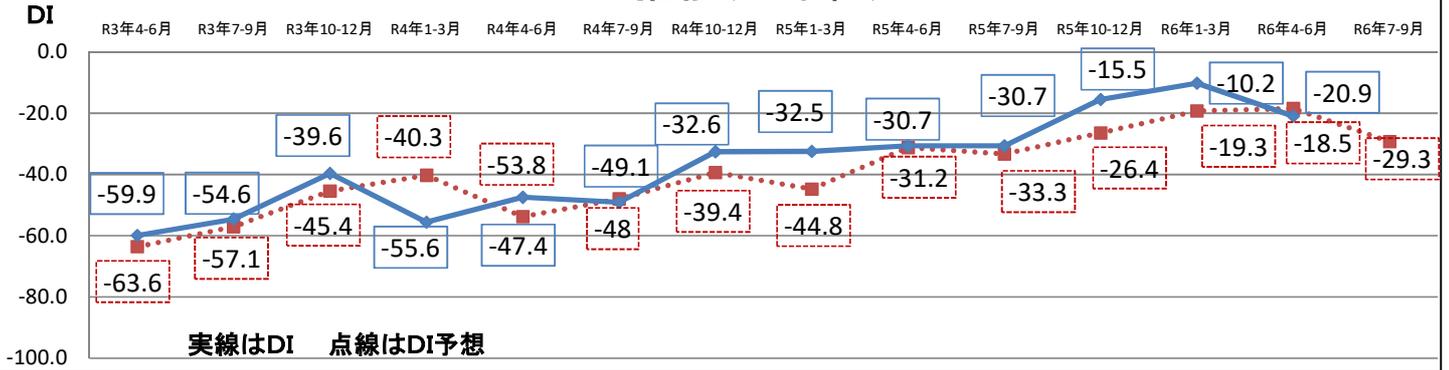


物価高騰、円安等を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください

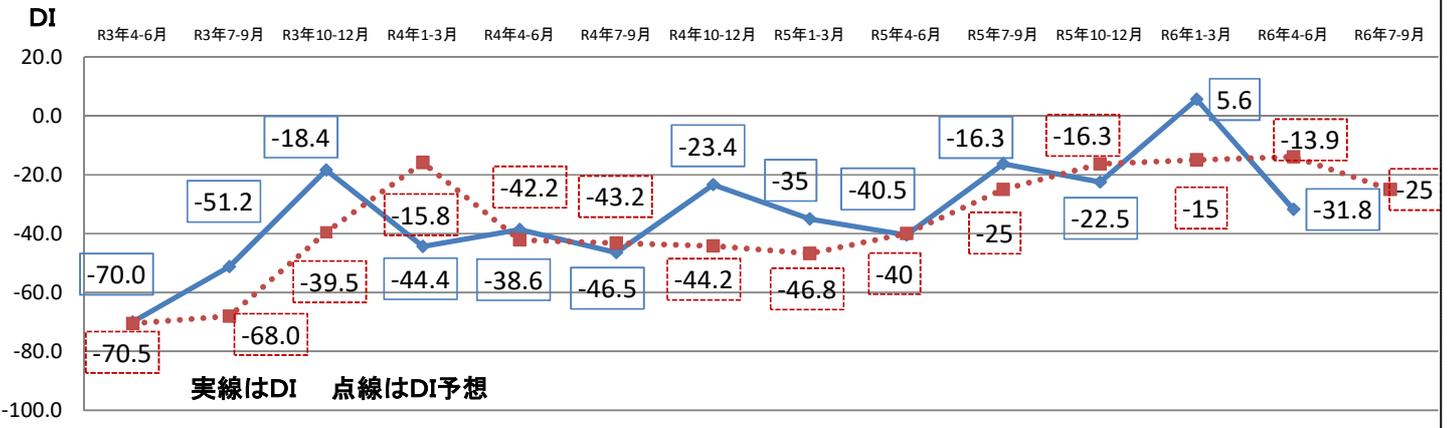


(注釈)DI予想のR6年7~9月は、
R6年6月時点での予想

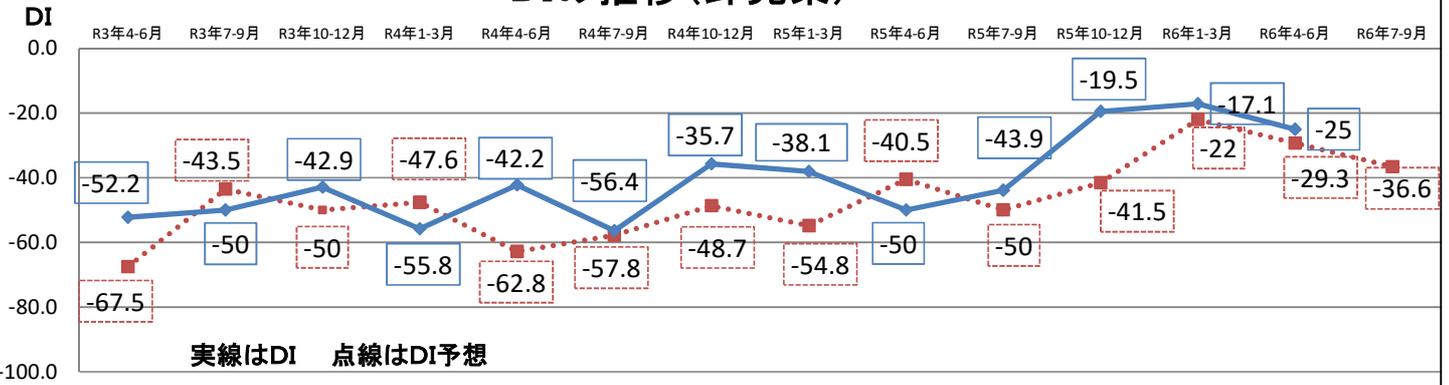
DIの推移(全業種)



DIの推移(製造業)



DIの推移(卸売業)



DIの推移(小売業)

